

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信
2017.02.01 Vol. **8**

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	新入会員紹介・訃報	6
第3回ローターアクト地区行事 報告	2	会員数および出席報告	7
社会奉仕委員会活動 報告	3	コーディネーターNEWS	8
米山記念奨学生選考会 報告	4	ハイライトよねやま	9
国際協議会 報告	5	米山梅吉記念館便り・ロータリー文庫通信	11

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

希望の春

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



昨年末、年の瀬に向かう12月22日に糸魚川大火が発生し、地元の糸魚川中央RC、糸魚川RCの会員の方が類焼の被害に遭いました。いち早く地元クラブへの支援の輪が広がり、地区に対してもご心配された多くのロータリアンから早速に御鄭重なるお見舞いを頂戴し、心より御礼申し上げます。引続き、糸魚川の復興に向け、地区を挙げて支援を図ってまいります。皆さまから大変ご心配をいただき、誠にありがとうございます。

さて「立春」を過ぎると、暦の上では春です。しかし、「春は名のみの風の寒さや」と歌われるように、雪国ではまだ冬の名残の季節が続きます。その一方、この季節の中で「希望の春」、すなわち次年度に向けての本格的な準備も着々と進んでいます。

新保ガバナーエレクトは、1月15日から21日までの一週間、米国カリフォルニア州サンディエゴでの2017年度国際協議会に参加され、過日帰国されました。また、次年度のロータリー財団地区奨学生、米山記念奨学生の選考も終わりました。私自身にとって、少しばかり肩の荷が下り、次年度への期待、「希望の春」に胸をふくらませる、そんな季節になりました。

ところで、今月は「平和と紛争予防／紛争解決月間」です。現在、紛争や迫害により世界で6500万人が難民生活を強いられ、18歳未満の子ども30万人が少年兵として紛争に巻き込まれているといわれています。ロータリーの重点分野である「平和と紛争予防／紛争解決」を支援するロータリー活動の一つが、世界の有名大学に設置された「ロータリー平和センター」です。わが国では、国際基督教大学に設置され、紛争の予防や解決に必要な専門的スキルを教え、長期的な平和構築のために活躍できる人材を育てています。平和センターの学生は「平和フェロー」と呼ばれ、年間100名のフェローに平和センターで学ぶためのフェローシップ（奨学金）を提供しています。

私たちは今日、マスメディアにより世界中で起きている紛争や迫害の報道を多く目にします。平和の担い手である平和フェローの活躍によって、世界中に紛争や迫害のない「希望の春」が来る日を願わずにはいられません。春が来るのを今か、今かと待ちわびる雪国の人々が季節の変わりを待っている気持ちのように、ロータリアンの平和への気持ちが伝わり、紛争や迫害のない世界に変わる季節を待ち望んでいます。

ローターアクト第3回地区行事報告

国際ロータリー第2560地区

ローターアクト委員長 吉井 直樹（三条 RC）

12/17（土）新潟青陵大学にて行われました。ローターアクト第3回地区行事についてご報告させていただきます。参加者としましては、地区ローターアクト副委員長本間長市様、新潟ロータリークラブ・ローターアクト委員長大澤強様、新潟ロータリークラブ・青少年奉仕委員長高橋清文様。新潟ロータリークラブ米山奨学生より3名。ローターアクター25名。計31名の参加者で行われました。

今行事では「ボクらの時代～“人生”“仕事”“アクト”」というテーマ行われました。第一部では4名のアクターに講演者となってもらい、これまでの人生談や普段行う仕事の業務内容。そしてローターアクト活動にどのような思いを持って活動しているか等を講演してもらいました、その後第2部として「ワールドカフェ」というファシリテーションの一形式を用いり、参加者全員で話し合うグループディスカッションを少人数のグループに分かれ行っていました。



第一部の講演者の話は、与えられたテーマは同じでも一人一人着眼点の違う発表となっていました。一人目の三条クラブ川越健矢君は自分のこれまでの人生の失敗談を話。二人目の新潟クラブ伊藤嘉昌子さんは、自分の出身地が島根県でありなぜ新潟の地に来ることになったのかと生い立ちの話。三人目新発田クラブ杉原永璃子さんは、アクト活動は義務感で行っておりアクトの価値を見出せていない話。四人目の田中雄一さんは普段の業務内容をわかりやすく説明されていました。

第二部の「ワールドカフェ」では、カフェのようなBGMを流し、お菓子をつまみながら講演者の話を聞き自分たちはどのように考えているかを小グループ毎に協議というより、何気ない会話をするようにリラックスした雰囲気の中で話し合いを行っていました。



全体を通して、アクト会員一人一人が活発的な意見交換を行っており、自分の生き方について改めて考えさせられるいい機会になったのではないかと思います。また米山奨学生の3名についても臆することなくアクターに交じって参加したこともよかった点にあげられるかと思います。



長岡市児童養護施設「双葉寮」寮生へお年玉！

～心も体も元気に育ってほしい～

国際ロータリー第2560地区

社会奉仕委員長 岸 伸彦（長岡東 RC）

平成29年1月7日（土）15時、長岡市児童養護施設「双葉寮」に長岡東ロータリークラブ、広井 晃会長、恩田社会奉仕委員長はじめクラブメンバー10名で伺い、2017年お年玉ということで、図書カード、ステーキ肉、飲料を寄付致しました。

「双葉寮」は様々な事情により、行き場のなくなった児童を保護し安心して生活できる環境を提供する場として運営されています。現在入寮者は幼児、小学生、中学生 高校生含め24名の皆さんが共同生活しています。

当日行われた贈呈式では、寮生はじめ職員の皆さんが出迎えてくれる中、当クラブ広井会長から挨拶があり、「ロータリークラブにはニコニコBOXという制度があり、会員に楽しいこと、嬉しいことがあったとき、そして奉仕活動を思い立ったときにコメントを添えて寄付し合う制度があること、そしてそのニコニコBOXからその気持ちを皆さんにおすそ分けしたいという願いから当日訪問したこと、そして寮生みんなが元気に楽しく学び育ってほしいという長岡東ロータリークラブ会員全員の思いを代表して訪問したこと」をお伝えし、その後、寮生一人一人に寄付品が会員より手渡しで行われました。寮生の弾ける笑顔と嬉しそうな表情に会員一同、琴線に触れ、深く感銘を受けました。

小学生の寮生からは元気の良い、心のこもった御礼の挨拶があり、寮長からは、「来週には学校がはじまり、また同時に本格的寒さが到来する時期を向かえます。寮生が楽しく期待感のもてる機会を頂きありがとうございます。」というお話がありました。寮長からは、ステーキ肉や飲料は、その日の夕食にみんなで楽しみ、本当に有意義であったとの報告がありました。

当日の様子は、地元ケーブルテレビで紹介され、ロータリークラブの奉仕活動が、広く地域へ情報発信されました。

「若木は国の宝」です。寮生の満面の笑顔や見守る職員の方々の安堵感を目にしたとき、あらためて地元地域への地道な奉仕活動の重要性やその喜びを共有できました。

地域奉仕や地域交流、それは垣根のないお互いフラットな立場で付き合える社会であると考えております。

今後は更に寮施設や寮生と地域住民との交流や相互理解へ、その活動を広げることを視野に入れ、地域に根差した、地域の一隅を照らす奉仕活動の実施を再認識し、報告とさせていただきます。



「米山記念奨学生選考会」の報告

国際ロータリー第2560地区

米山奨学生選考委員長 野崎 裕（新潟東 RC）

第2560地区における2017学年度「米山記念奨学生選考会」が、2017年1月14日（土）万代シルバーホテルで開催されました。

本年度の応募者は通常プログラムの総数54名（博士課程5名、修士課程32名、学部生17名）・海外応募者対象プログラム1名（修士課程1名）で、18名の新規採用を巡って真剣に試験に臨みました。

当日は大雪に見舞われ、留学生の皆さんは交通機関の遅れなど大変ご苦労されておりました。選考試験は、事前に書類審査を行い、選考会当日は、午前の部と午後の部に分かれそれぞれ個人面接、グループディスカッション（集団面接）が行われました。個人面接では「研究計画書」「小論文」に基づき質問をし、グループディスカッションでは当日出された課題に対して自由に討論してもらいその内容を採点しました。

面接をされた留学生は優れた人たちばかりで面接官も選考には苦労しましたが、国別や大学、男女の割合などバランスを考えながら新年度奨学生18名が決定されました。奨学事業の使命である日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍しロータリー活動の良き理解者となる人材を育成することにあるように、奨学生の皆さんの将来活躍することを期待します。

今後も、できるだけ多くのクラブ、ロータリアンに興味を持って頂き、これまで以上に充実した活動を実施したいと考えておりますので、地区内のロータリアンの皆さまには、今後とも米山記念奨学会の事業にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



2017年 国際協議会の報告

国際ロータリー第2560地区

ガバナーエレクト 新保 清久 (新潟万代 RC)



平成29年1月15日から1月21日までサンディエゴで開催された国際協議会に出席してきました。日本の34地区のガバナーは、羽田発と成田発の2便に分かれて現地集合。私ども約30名は、羽田空港を1月14日の15時に出発してロスアンゼルスで一泊。翌1月15日にバスにて約3時間かけて午前中に会場のマンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴに到着して、別便で到着していたグループと合流。同日18:30からの国際晚餐舞踏会は、世界中から集まったガバナーエレクト、ご夫人合わせて千名以上が、華やかな民族衣装で入場するグランドマーチで始まりました。



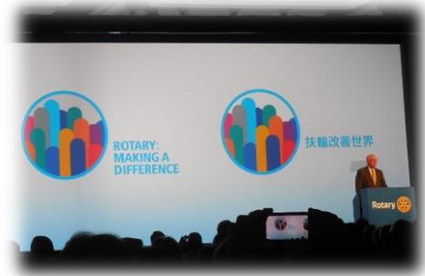
日本チームは、男性陣は背広の上に、女性陣は、着物の上に特注で作った浮世絵デザインの花被姿で登場して、大喝采を受けました。

国際晚餐舞踏会や、最終日の閉会晩餐会では、同じテーブルとなった外国のガバナーエレクトと片言の英会話などで多少でも国際交流ができて大変楽しいひと時でありました。

国際協議会は、1月16日午前9時よりジョン F. ジャーム RI 会長の開会宣言に始まり、続いて RI 会長エレクトのイアン H.S ライズリーが挨拶と会長テーマを発表しました。

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE 「ロータリー: 変化をもたらす」イアン H.S ライズリーは、次のように言いました。

「ロータリーは、ポリオプラスに代表されるように、長年にわたり世界中で困っている人たちに支援、奉仕を行い、世の中を変化(改善)させてきた。これからは、ロータリー公共イメージと認知度の向上にもっと力を入れること、クラブの多様性を進めて若い会員、年配者、女性会員の入会に努めること、IT化を進めること、また財団への寄付増進、平和センターへの理解と協力に努めて欲しい。」そして最後に、「年度内に各地区で会員の人数分の木を植えて世界中に120万本の植樹をしてください」と要請がありました。



1週間にわたり、いろんな国のロータリアンと片言の英語や握手などで身近に接する機会を得て、あらためてロータリーは、世界につながっていることや世界中で有益な奉仕活動を行なっていることを知ることができました。以上簡単ですが国際協議会に出席した報告をいたします。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC名	お名前	入会日	会社名
新発田城南	石井 修	2017.01.05	新発田運輸(株)
新潟南	渡邊 真昭	2017.01.18	(株)共栄テクノ
新潟南	島村 健治	2017.01.18	名鉄観光サービス(株) 新潟支店
三条	落合 孝夫	2017.01.11	(有)ビジネスサービス 落合孝夫税理士事務所
三条	野水 靖之	2017.01.11	(株)ノミズ自動車
三条北	齋藤 孝之輔	2017.01.10	株式会社 齋鐵
巻	星野 国彦	2016.12.15	(株)渡大組
雪国魚沼	小野塚 徹	2017.01.11	(有)小野塚管工
雪国魚沼	小島 一也	2017.01.11	(有)小島鮮魚
高田	杉山 高男	2016.12.02	(株)上新技建
高田	内山 徹	2016.12.02	(株)新潟総合テレビ 上越支社
糸魚川	猪又 直登	2017.01.01	(株)カネタ建設

訃報



高田東 RC 宮越 光昭 様

12月26日ご逝去

故人のご冥福をお祈りいたします・・・

第2560地区 2016-17年度 12月末 会員数および出席報告

R C	例 会数	出 席率	会 員 数			
			7月1日 現在	12月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	83.46	371	372	35	1
新発田	4	94.24	97	98	0	1
村上	4	80.00	36	36	8	0
水原	3	86.96	25	25	0	0
中条	4	89.31	35	38	3	3
新発田城南	4	78.71	40	38	4	-2
豊栄	4	81.48	27	27	3	0
新発田中央	3	81.69	48	48	5	0
中条胎内	4	82.58	33	33	6	0
村上岩船	3	76.19	30	29	6	-1
第2分區(9クラブ)	／	83.42	440	449	20	9
新潟	3	87.98	92	99	0	7
新潟東	3	84.80	62	61	8	-1
新潟南	3	83.94	97	100	2	3
佐渡	4	85.70	7	7	0	0
新潟西	4	83.48	37	40	1	3
佐渡南	3	82.39	42	42	4	0
新潟北	3	75.61	42	41	0	-1
新潟中央	3	84.00	25	25	0	0
新潟万代	4	82.90	36	34	5	-2
第3分區(6クラブ)	／	73.21	131	128	8	-3
新津	3	74.08	19	18	0	-1
村松	4	82.50	10	11	0	1
五泉	4	82.34	18	18	3	0
白根	4	76.19	42	42	3	0
新津中央	4	74.15	31	28	1	-3
阿賀野川ライン	4	50.00	11	11	1	0
第4分區(11クラブ)	／	79.55	362	364	22	2
三条	3	81.13	55	54	0	-1
燕	3	67.27	33	33	1	0
加茂	4	92.86	28	28	4	0
三条南	3	88.70	51	48	2	-3
分水	4	75.97	32	33	3	1
見附	4	70.00	20	19	1	-1
吉田	2	82.30	32	33	2	1
三条北	3	80.81	65	65	3	0
巻	4	100.00	9	13	0	4
田上あじさい	4	64.30	6	7	1	1
三条東	4	71.67	31	31	5	0

R C	例 会数	出 席率	会 員 数			
			7月1日 現在	12月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	87.37	313	325	27	12
長岡	3	83.33	40	44	2	4
柏崎	3	82.36	42	47	0	5
長岡東	3	92.70	69	69	6	0
柏崎東	4	89.77	53	55	5	2
栃尾	4	91.57	21	22	0	1
長岡西	4	84.81	52	53	6	1
柏崎中央	3	87.03	36	35	8	-1
第6分區(6クラブ)	／	86.04	156	159	11	3
十日町	4	99.28	34	35	3	1
小千谷	3	76.80	40	40	3	0
雪国魚沼	3	77.50	24	25	4	1
十日町北	3	100.00	23	24	0	1
津南	4	79.63	27	27	1	0
越後魚沼	3	83.00	8	8	0	0
第7分區(8クラブ)	／	82.99	324	326	27	2
高田	3	98.73	61	64	0	3
直江津	3	89.85	51	50	3	-1
新井	4	76.61	32	32	3	0
糸魚川	4	88.09	42	43	3	1
高田東	3	85.00	40	40	2	0
糸魚川中央	3	69.44	36	33	0	-3
頸北	3	87.20	15	15	1	0
越後春日山	4	69.00	47	49	15	2

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
12月末 会員数	2,123	人
女性会員数	150	人
純増減会員数	26	人
当月平均出席率	82.28	%



コーディネーター NEWS

2017年2月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone2 RC/ARC

■ 新クラブ設立

・名古屋宮の杜ロータリークラブ 第2760地区
承認年月日2016年12月5日 創立会員数：30名(男性30名)
〒460-0008愛知県名古屋市中区栄1-22-16ミナミ栄ビル402号
TEL / FAX:052-253-7821 / 052-253-7820
例会：第1&3木曜日 12:20～13:30 ウェスティンナゴヤキャッスル

・古河東ゆきはなロータリー衛星クラブ 第2820地区
認可年月日2016年12月13日 創立会員数:10名(男性7名 女性3名)
〒329-0114 栃木県下都賀郡野木町野木2408
TEL / FAX:0280-55-0208 / 0280-55-0208
例会：第2第4金曜日 19:00～ 美容室ルピナス古河西口店

■ 脱会クラブ

- ・第2640地区 堺利晶RC RI理事会承認日：2016年11月30日
- ・第2830地区 青森東RC RI理事会承認日：2016年12月31日
- ・第2680地区 神戸ハーバーRC RI理事会承認日：2016年12月31日

■ クラブの柔軟性について

第45回ロータリー研究会においても2016年度規定審議会で制定案として可決されたクラブの柔軟性に関わる事項が取り上げられました。クラブ例会の柔軟性に関しては①制定案 16-21 クラブ例会と出席に柔軟性を認める件 ②制定案 16-26 例会取消の規定を改正する件 ③制定案 16-30 直接あるいはオンラインの両方による例会出席を認めるよう、出席規定を改正する件 などがあります。この度の2クラブ設立においても例会回数を月2回として、早速新制度を取り入れております。

■ クラブ数 会員数

Zone	クラブ数	会員数
Zone 1	829	28,587
Zone 2	652	28,071
Zone 3	791	32,775
合計	2,272	89,433

2017年1月9日現在の Rotary Club Centralのデータによります

■ BOX登録件数

183件(1. 2. 3ゾーン合計)



公共イメージ向上作戦

BOXは公共イメージコーディネーターが始めた「クラウドBOX」の事です。クラブや地区が奉仕事業やロータリー活動の新聞記事を投稿して下さい。<rpjicjapan@gmail.com>に「詳細希望」という件名で空メールをお送りいただくと投稿および、閲覧方法が自動返信で届きます。

提言：クラブ運営上の柔軟性導入方法

*「クラブ戦略計画委員会」が、「柔軟性のあるクラブ運営方法」を長期的観点から立案し、クラブ理事会へ諮問する方式が望ましい

*クラブの将来に亘るクラブ運営方法を単年度の理事会が検討し、導入することはロータリークラブの単年度制がバランズ方式では極めて難しい

あなたのクラブは「柔軟性の導入」を検討しますか？

D2660アンケート調査の結果
(2016年9月地区戦略計画委員会が実施)

- * 導入を検討する： 35%
- * 導入計画なし： 44%
- * 未回答： 20%

ロータリー研究会セッション2で使用されたスライドから

第45回ロータリー研究会に出席して

2016年11月30日から12月1日まで、名古屋のウェスティンナゴヤキャッスルにて678名の参加で開催されました。前々日の28日にはロータリー財団セミナー、前日29日はガバナー会、GETSそしてジョン・F・ジャームRI会長をお迎えしてご夫婦歓迎晩餐会が盛大に行われました。研究会の最大の関心は「これからのロータリーを考えるー規定審議会より見えるものー」。RIの最大目標はポリオ撲滅。その為、又クラブの活性化の為、会員増強が大事になってきます。故に例会の柔軟性、会員身分の柔軟性等が規定審議会で決定したものであると思います。ロータリーはあくまでもクラブが基本です。クラブ例会が楽しく癒しの場でなければなりません、そしてクラブ全員が参加できる奉仕活動があるのです。ぜひ戦略計画を理解し、クラブは皆でクラブ目標を話し合い決定することが大事になり、楽しく意義あるクラブ活動が出来るのです。

(第2ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 菅原光志 鎌倉RC)



ハイライトよねやま 202

2017年1月13日発行

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 今年もよろしくお願ひします —

12月までの寄付金は前年同期と比べて6.2%減（普通寄付金2.1%増、特別寄付金9.0%減）、約5,600万円の減少となりました。ご寄付をいただきました皆様に厚く感謝申し上げます。

さて、「2016年度 下期普通寄付金のお願ひ」をガバナー事務所から各クラブに、また、当会からも1月11日、全ロータリークラブ宛てにEメールを配信しました。普通寄付金は当会事業の重要な安定財源であり、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に、財団法人設立の許可を得た経緯があります。当事業は全地区が参加する「多地区合同活動」であることをご理解いただき、今年も引き続きご支援賜りますようよろしくお願ひいたします。

2017-18年度地区米山記念奨学委員長セミナー開催報告

12月13日、2017-18年度の地区米山記念奨学委員長を対象とした第1回セミナーを開催しました。

午前は、小沢一彦理事長からのあいさつに続いて、安増惇夫理事（第2700地区）による講義・全体会議「米山奨学事業の疑問に答える」が行われました。事前アンケートの結果をもとに参加者の意見を引き出しながら進められ、大変好評でした。

午後は、特色ある取り組みについての事例研究と、「奨学事業全般」「理解促進から寄付増進へ」「共に学ぶ事業」「多様な国からの採用」の4テーマに分かれて、グループディスカッションが行われました。終日にわたる盛りだくさんのセミナーでしたが、講師、参加者の皆さまのご協力により、各地区の経験や情報を共有する有意義な機会となりました。参加者アンケートからも、「全てが参考になり良かった。まねることから始めて、より良い委員会運営を目指したい」「米山奨学事業の目指すところ、意義について改めて認識を深めることができた」「委員長の役割が分かった。学友会も大切にしたい」などの声をいただきました。終了後の懇親会では、地区を越えた委員長同士のネットワークづくりを図っていただき、「米山〇×クイズ」でさらに知識を深めていただきました。第2回セミナーは、5月31日に開催予定です。



ご寄付の確定申告用領収書について

～1月末日までにクラブへお届けします～

昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛てに送付します。

本年もよろしく
お願ひ致します



感謝の気持ちにあふれた総会 — 台湾米山学友会総会 —

台湾米山学友会(中華民國扶輪米山會)の総会が12月17日に桃園市の揚昇ゴルフクラブで開かれ、台湾の学友90人のほか、日本在住、ならびに韓国、タイ、マレーシアの学友、当会の若林紀男副理事長と岩邊俊久事務局長を含む多数のロータリアンなど総勢136人が集いました。

総会では新会員の紹介や、同学友会が支援する日本人奨学生への奨学金授与のほか、台日国際ロータリー親善会の張瑞欽理事長、台中文心RC、大阪城南RC会員ご家族の西谷文江氏からそれぞれ学友会への寄付金が贈呈されました。また、「形式ばらない総会に」との呉憲璋理事長の方針により、呉理事長が自らピアノを演奏したほか、理事と監事が日本語で「花」「涙そうそう」を熱唱し、歓迎の気持ちを表しました。懇親会では、陶芸家として活躍する張義明^{チャンイミン}さんの作品が学友会運営資金のためチャリティーオークションにかけられるなど、例年以上の盛り上がりを見せました。



上海で米山学友会が総会を開催

12月17日、上海米山学友会の年次総会が上海市内で開催され、学友36人とその家族ら総勢47人が参加しました。



総会では年間優秀学友の表彰、新会員の紹介のほか、劉京榕^{リウジンロン}会長からの挨拶のなかで、来年の奉仕活動計画(小学校への水ろ過装置設置)や今後の中国学友会の展望などが語られました。総会は



終始、仲間同士のリラックスした雰囲気の中で行われ、子どもの歌やゲームで盛り上がり、学友同士の結束を強める会となりました。

劉会長は、「今回、わざわざ日本から参加してくれた学友もいたが、今後も上海に限らず、中国や世界各地からの学友を歓迎したい」と、学友会の裾野を広げていきたいとの意向を語りました。

これから開催される海外学友会の総会関連情報

-  マレーシア: 2017年2月18日(土) 学友会設立記念パーティ
18:30-21:00(19:00開始) Hotel Jen Penang (CHA, Level 2)
-  ミャンマー: 2017年2月25日(土) 学友会創立総会 セドナホテル
-  タイ: 2017年3月18日(土) 定期総会 *前国王喪中につき非公開で開催
-  モンゴル: 2017年5月14日(日) 定期総会



50周年記念誌に掲載する写真を募集中です。米山に関連する、特に古い写真を歓迎。紙焼き写真可。締切は1月20日。送付先は下記担当

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281

E-mail: highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL: http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当: 野津(のづ)・峯(みね)

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑥ 米山梅吉の横顔

米山梅吉は、明治29年に米山はると結婚し、長女・愛子、次女・澄子、長男・東一郎、次男・駿二、三男・桂三をもうけました。愛子さんは高木逸雄氏に、澄子さんは荒川昌二氏に嫁しました。しかし東一郎さんを梅吉52歳の時に20歳で亡くし、駿二さんを58歳の時、21歳の若さで亡くしています。

東一郎さんは海軍兵学校に進みましたが近眼で初志を貫徹せず、慶応義塾大学理財科に編入、走り高跳びの選手にもなりました。駿二さんは中学入学後、ゴッホ「自画像」を手本に絵筆を動かし、やがては白瀧幾之進画伯の門をたたくような人柄でした。長男、次男を亡くした米山の嘆きやいかに。



養父母金婚式の祝いの家族写真
(米山梅吉46歳)

米山梅吉 関連図書 の紹介

文庫判
谷内宏文著
本文369ページ
890円



点描 米山梅吉 新風舎刊
「米山梅吉伝」をふまえ、さらに新しい視点から米山の人物像に迫った1冊です。特に金融界での活躍や、三井報恩会での事業について深く掘り下げた、奉仕の人米山梅吉を知る格好の好著です。現在は一般書店では手に入らず、米山記念館のみで取り扱い中です。

春季例祭 | 平成29年4月22日(土) 午後2時～ 式典／講演会
ご案内 | 米山梅吉記念館
登録料無料 アトラクションあります。
多くの皆様ご参加ください。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1
TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101
URL <http://yoneyama-umekichi.jp>
Email:yumh@ai.tnc.ne.jp
【開館時間】午前10時～午後4時
【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉記念館へのご来館歓迎
クラブの移動例会、個人でのご来館歓迎。日本のロータリー創設者米山梅吉の生涯、奉仕活動、社会貢献や根幹にあるロータリー精神を、学芸員の解説でより深く知ることが出来ます。

文庫通信 (353号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

忘れ得ぬロータリアン (2)

- ◎ 「ポール・ハリスの合理的ロータリアニズム」 ポール・ハリス 2010 8p
- ◎ 「ポール・ハリスの言葉から」 佐藤千壽 横浜鶴見西R.C. 1976 53p
- ◎ 「ロータリー・クラブ」 米山梅吉 社会教育協会 1929 20p
- ◎ 「父 米山梅吉のこと」 米山桂三 1963 4p
- ◎ 「ロータリーと父 米山梅吉」 米山桂三 東京南R.C. 1972 8p
- ◎ 「人間米山梅吉を大いに語る(その1～3)」 米山記念奨学会 1986 [22p] (「よねやまだより」より抜粋)
- ◎ 「夫 福島喜三次のこと」 福島朝子 1963 4p
- ◎ 「日本ロータリー再建の頃(1~7)-ジョージ・ミーンズ回顧録-」 ジョージ R.ミーンズ 1976~77 [27p]
[上記申込先:ロータリー文庫]
- ◎ 「ロータリーへの道 三訂版」 ポール・ハリス著; 柴田實訳 成田R.C. 2011 372p
[申込先:成田R.C. FAX(0476)33-8786]
- ◎ 「ロータリアン福島喜三次傳(日本ロータリーの曙)」 蒲原権編 有田R.C. 1986 102p
[申込先:有田R.C. FAX(0955)43-3140]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL (03)3433-6456・FAX (03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日